

# 平成30年度 技術・家庭科 授業改善推進プラン

大田区立糀谷中学校

## 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

### (1) 成果

- ・生徒は、ものづくりに対し興味・関心が高い。昨年度はものづくり競技会に技術科・家庭科共に出場し、技術科は入賞、成果を収めることができた。
- ・昨年度も体験的学習を多く取り入れ、繰り返し学習することに工夫を加え、基礎的な知識や技能の定着を図ることができた。グループ学習は定着し、作業能率を高めるノウハウの蓄積ができた。

### (2) 課題

- ・生活体験の個人差が大きい。基本的な知識や技能の定着が不十分な生徒が多いため、板書の工夫や視聴覚機器を今後も活用し、学習内容をわかりやすく工夫する。
- ・優れた制作活動が期待できるように、工具・道具や材料の整理整頓を行い、授業課題に応じた、効率よく配置し作業しやすい教室環境を整える。

## 2 大田区学習効果測定の結果分析

### (1) 達成率（経年比較）

	平成30年度結果	平成29年度結果	平成28年度結果
第1学年	授業には意欲的で前向きな姿勢を示している。 理解力も高い。		
第2学年	理解力があり、作業の取り組みも意欲的で技能的にも優れている。	理解力は比較的高いと考えられる。技能的にも、例年と同様にものづくりには積極的。 (第1学年時)	
第3学年	関心があり、授業には前向きに取り組んでいる。技能面では能力に差が見られる。	昨年よりは前向きに授業に取り組めるが、理解力は高くはない。 (第2学年時)	興味はあるが、理解力は低く、技能的にも困難な生徒が多い。 (第1学年時)

### (2) 分析（観点別）

#### ① 第1学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
実習や作業に関心が高い。	作業内容の理解が遅く、取りかかるまでに時間がかかる生徒がいる。	基礎的な技能は身につけている生徒が多い。	知識の習得・理解に時間がかかる。学習した知識を日常生活の中でいかすことが、困難な感じが感じられる。

② 第2学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
実習や作業に関心が高い。作業内容の説明を十分に聞かない傾向はある。	作業説明が理解できず、取りかかるまでに時間がかかる生徒が多い。	生活体験による個人差が大きい。基礎的な技能は身につけてきている。	知識の習得・理解に時間がかかる。

③ 第3学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
実習や作業に関心を示すようになってきている。	作業説明が理解できず、取りかかるまでに時間がかかる生徒が多い。	生活体験による個人差が大きい。基礎的な技能の定着が図れていない傾向にある。	知識の習得・理解に時間がかかる。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
「聞く」ことに集中させ、常に正しい作業方法を的確に理解させるよう工夫する。	独自の工夫や創造ができるような時間を設定し取り組ませていきたい。	体験的な学習を通じて、繰り返し学習することで、技能の定着を図る。	ICT 活用や資料作成に配慮して、学習した知識を日常生活の中でいかせるようにしたい。

(2) 第2学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
作業の進め方を工夫することで、集中して作業ができるよう工夫する。	グループ活動を取り入れ、作業の進め方にも工夫しながら取り組ませていく。	繰り返し学習することで、技能の定着を図る。	ICT 活用や資料作成に配慮して、学習した知識を日常生活の中でいかせるようにしたい。

(3) 第3学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
「聞く」ことに集中させ、常に正しい作業方法を的確に理解させるよう工夫する。	内容を工夫し、より深く考察する内容を設定し取り組ませていく。	体験的な学習を工夫して、その技術の目的や意味を考えさせながら指導したい。	社会や家庭生活に具体的に関連づけながら知識・理解を深めていく。